

## DAiKO 第69期 中間報告書

2021.4.1 ▶ 2021.9.30

### 会社概要／株式の情報

#### 会社概要 (2021年9月30日現在)

|       |                  |
|-------|------------------|
| 商号    | 大興電子通信株式会社       |
| 証券コード | 8023(東証第二部)      |
| 設立    | 1953年12月1日       |
| 所在地   | 東京都新宿区揚場町2番1号    |
| 電話番号  | 03(3266)8111(代表) |
| 資本金   | 19億6,906万8,326円  |
| 従業員数  | 755名             |

#### 企業集団の状況 ●連結子会社

|                                 |                                                                                                            |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ●大興テクノサービス(株)                   | 東京都新宿区揚場町2番1号                                                                                              |
| ●大興ビジネス(株)                      | 東京都新宿区揚場町2番1号                                                                                              |
| ●(株)AppGuard Marketing          | 東京都新宿区揚場町2番1号                                                                                              |
| ●(株)DSR                         | 東京都千代田区平河町1丁目2番10号                                                                                         |
| ●(株)アイデス                        | 大阪府大阪市中央区備後町1丁目4番9号                                                                                        |
| ●大協電子通信(株)                      | 大阪府大阪市北区大淀中2丁目8番20号                                                                                        |
| DAIKO GLOBAL MARKETING CO.,LTD. | No. 191 Silom Complex Building,<br>16th Fl., Unit A, Silom Road, Silom,<br>Bangrak, Bangkok 10500 THAILAND |

#### 株式の状況 (2021年9月30日現在)

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 47,900,000株 |
| 発行済株式の総数 | 13,868,408株 |
| 株主数      | 3,766名      |

### 株主メモ

|                            |                                                                                                                        |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                       | 4月1日～翌年3月31日                                                                                                           |
| 決算期                        | 3月31日                                                                                                                  |
| 定時株主総会                     | 6月                                                                                                                     |
| 基準日                        | 3月31日<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。                                                                                     |
| 配当金受領株主確定日                 | 3月31日                                                                                                                  |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の<br>口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                          |
| 同連絡先                       | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>電話 0120-232-711(通話料無料)<br>郵送先 〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 上場証券取引所                    | 東京証券取引所                                                                                                                |
| 公告の方法                      | 電子公告により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。                                                   |

#### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### IRサイトのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、事業概要、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご覧いただけます。

大興電子通信 IR 検索 <https://www.daikodenshi.jp/ir/>



## 大興電子通信株式会社

〒162-8565 東京都新宿区揚場町2番1号 軽子坂MNビル  
TEL 03-3266-8111(代表)

<https://www.daikodenshi.jp/>



# DAiKOが選ばれる理由 Vol.3

当社は、ICTを活用してお客さまの経営に関する様々な悩みを解決するSIer(システムインテグレーター)です。「お客さま第一」と「高品質なサービス」を基本に、あらゆる業種のお客さまが抱える課題をICTで解決します。

## 未来へと続くDAiKOのイノベーション

### 1953 | 大興通信工業設立

「通信関係の仕事を通して世の中の役に立つ」という思いから、大興通信工業を設立。

### 1974 | 大興電子通信に商号変更

コンピュータ(電子)とネットワーク(通信)が融合する未来を見据え、社名を「大興電子通信株式会社」に商号変更。

### 2001 | オリジナルソリューションの販売開始

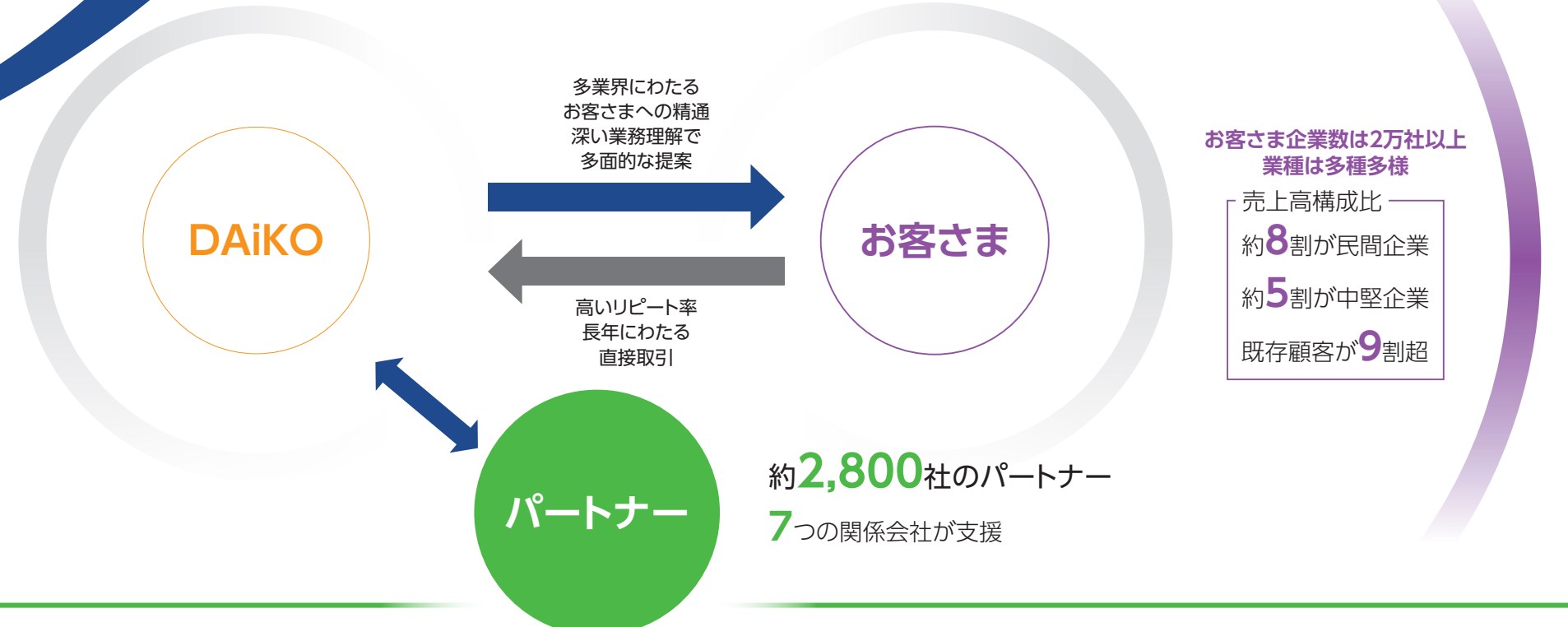
製造業向け生産管理システム「rBOM」をはじめ、業種/業務ソリューションのラインアップを強化。

### 2017 | 「AppGuard®」販売開始

サイバー攻撃から、あらゆるICT機器をガードすること、来るべきDXによるIoT社会の到来に向けたツールとして「AppGuard®」を販売開始。

### 20XX年 | DXリーディングカンパニーへ ～ICT社会は、IoTからIoTへ～

DAiKOが推進をリードするDX構想が描く未来は、レガシーシステムの豊富な知見とベンダー各社とのインテグレーションの融合によって実現する超革新的な世界。



▶ DAiKOのソリューションの詳細は、ホームページをご覧ください。

大興電子通信 ソリューション 検索  
<https://www.daikodenshi.jp/solution/>



## 緊密なパートナーシップから生まれる“新しいコトづくり”

私たちが得意なコトにパートナーさま各社が得意とする技術やノウハウを融合させて、新しいコトづくりをご支援しています。

パートナーとの協業・共創によって導き出す新しいサービスや斬新なビジネスモデルをベースに、お客さまと一緒にイノベーションを実現します。



### ● ネットワンパートナーズ株式会社が提供するSaaS型タレントマネジメントシステム

色彩心理学とAI技術により、わずか3分で人材の潜在的なパーソナリティの分析(適性・能力)ができるSaaS型適性診断サービス。経験や勘に頼っていた人材マネジメントにおける課題解決をサポートします。



### ● クオリティソフト株式会社が提供する「Windows Defender」を集中管理するクラウドサービス

サブスクリプションで「必要な時」に「必要な対策」を選んで導入できるエンドポイントサービス。集中管理機能を持たない無料の「Windows Defender」を本サービスで管理することで安価にセキュリティ対策を実現します。さらに、AppGuard®を併用することで、より強固なエンドポイントセキュリティを提供します。



大興電子通信株式会社  
代表取締役社長  
**松山 晃一郎**

Q

上半期の概況について

**A** 上半期は、緊急事態宣言やまん延防止措置により経済活動が大きく制限され、厳しい状況で推移しました。当社グループでは、富士通グループとの連携強化による新規商談の獲得や、既存のお客さまを対象とした受注拡大に向け引き続き取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特にハードウェア販売を中心とする情報通信機器部門において受注の延伸が生じた結果、当上半期の業績は、受注高169億67百万円(前年同期比93.1%)、売上高169億96百万円(前年同期比98.4%)となりました。

また、利益面では、ハードウェア販売からSEビジネスへのシフトが進み売上総利益率が改善したこと、テレワーク推進による活動費減少、前年度に実施した本社事務所のリニューアルによる経費増の影響がなくなったことで、営業利益4億70百万円(前年同期比296.6%)、経常利益5億4百万円(前年同期比223.5%)といずれも増加しました。

Q

今期(2022年3月期)の見通しについて

**A** ワクチン接種による経済活動再開の動きが見える一方、新たな変異種が発生するなど感染症対策は複雑化しており、景気の先行きは依然として不透明なままです。

そのような中、足元の受注実績は前年を下回っていますが、これまでの営業活動により今後の受注につながる案件が着実に増加しています。また、民需部門向け高収益ビジネスへのリソースシフトが進み、公共分野で培ったマイグレーション技術や大規模プロジェクト管理のノウハウを活用したSEビジネスが成約しはじめ、拡販への期待が持てる状況になってきました。

さらに、中期経営構想「D's WAY」で収益力安定のため重視しているストックビジネスについても、従来主力であったハードウェア保守からソフトウェア保守やクラウドサービスといった新しいストックビジネスへの移行も含め、年間売上高の35%に相当する140億円の目標達成に向け概ね計画どおりに進捗しています。このような状況から、2022年3月期は当初業績予想のまま、その実現を視野に入れながら尽力しているところです。

構造改革に向けた取組みを着実に進め、  
総仕上げを迎える「D's WAY」の  
目標達成へ邁進してまいります。

Q

中期経営構想「D's WAY」の進捗と今後の取組みについて

**A** 当社グループは、2017年3月期から6年間に渡る中期経営構想「D's WAY」に取り組んできました。総仕上げとなる今期は、さらなる顧客接点の強化や成約率向上といった組織的な営業活動を支援するセールスフォースオートメーションを徹底的に活用した受注拡大に努めると同時に、お客さまにおける経営課題の解決を支援する各種サービスの提供を継続することで、目標達成に向けて邁進していきたいと考えています。

さらに将来を見据えた活動として、10年後に当社の中核を成す若手メンバーを選抜し、次代につながる会社の存在意義や持続的に利益を創出する仕組みを多面的に検討するプロジェクトを立ち上げ、一層の成長に向けた取組みを進めています。また、このプロジェクト活動で掲げる中長期ビジョンを踏まえ、2023年3月期(第70期)から2025年3月期(第72期)までの3ヵ年を対象とした中期経営計画を策定し、来期早々に公表することを予定しています。

連結業績の概要  
2022年3月期第2四半期(累計)

受注高 **169億67百万円**  
(前年同期比 93.1%)

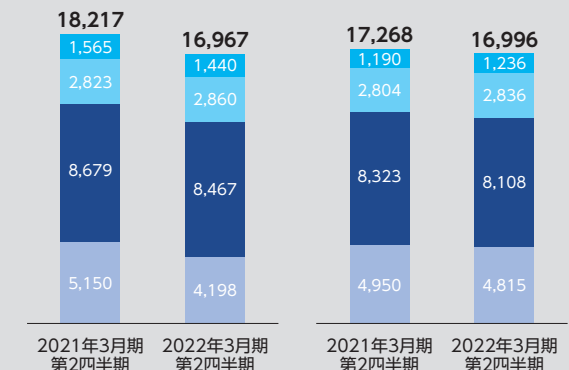
売上高 **169億96百万円**  
(前年同期比 98.4%)

営業利益 **4億70百万円**  
(前年同期比 296.6%)

事業部門別の状況

■ 情報通信機器 ■ ソフトウェアサービス  
■ 保守サービス ■ ネットワーク工事

受注高の推移 (百万円) 売上高の推移 (百万円)



決算情報の詳細は、  
ホームページをご覧ください。

大興電子通信 決算情報 検索



<https://www.daikodenshi.jp/ir/>

# 中期経営構想『D's WAY』と今後の連結業績見通し

## 中期経営構想『D's WAY』

D's WAY 3つの使命

- ① 利益を出し社会に貢献する
- ② 社員が安心して働ける
- ③ お客さまに満足していただける

## ●D's WAYロードマップ

創立70周年に向け、中期経営構想を推進

1st

- ・SIMQ with P 活動における目標の完遂 (Stock, Innovation, Management, Quality, Partner)
- ・従業員満足度向上
- ・経営指標の見える化とコクピット経営
- ・業務システムの負荷軽減とシステムの最適化

2nd

- ・特化ビジネス、新規ビジネスでの収益拡大
- ・新規顧客、顧客内新規の受注拡大
- ・ストック比率の向上
- ・人員体制の強化

3rd

「しあわせを追求する ICTサービス企業」

2022

創立  
70  
周年

Base 土台の継続的強化

お客さま第一／高品質サービスの提供／従業員満足／財務基盤強化／コンプライアンス+5S×5S

2016 - 2017

2018 - 2019

2020 - 2021

(注) [SIMQ with P]…会社の基盤となる利益の安定化を実現するため、組織横断で活動するタスクフォース。

|                 | 2019年3月期実績 |            | 2020年3月期実績 |            | 2021年3月期実績 |            | 2022年3月期予想 |            |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|                 | 2019年3月期実績 | 2020年3月期実績 | 2021年3月期実績 | 2022年3月期予想 | 2021年3月期実績 | 2022年3月期予想 | 2021年3月期実績 | 2022年3月期予想 |
| 売上高             | 35,474     | 41,217     | 36,273     | 38,000     | 36,273     | 38,000     | 36,273     | 38,000     |
| 営業利益            | 1,002      | 2,079      | 1,126      | 1,300      | 1,126      | 1,300      | 1,126      | 1,300      |
| 営業利益率           | 2.8%       | 5.0%       | 3.1%       | 3.4%       | 3.1%       | 3.4%       | 3.1%       | 3.4%       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,631      | 1,956      | △452       | 880        | △452       | 880        | △452       | 880        |
| ROE*            | 39.8%      | 24.0%      | △5.6%      | 9.9%       | △5.6%      | 9.9%       | △5.6%      | 9.9%       |
| 自己資本比率          | 25.8%      | 33.0%      | 34.2%      | 35.5%      | 34.2%      | 35.5%      | 34.2%      | 35.5%      |

\* 期末日の純資産の額を基準としております。

## 特集

改正電子帳簿保存法・インボイス制度の適用に対応

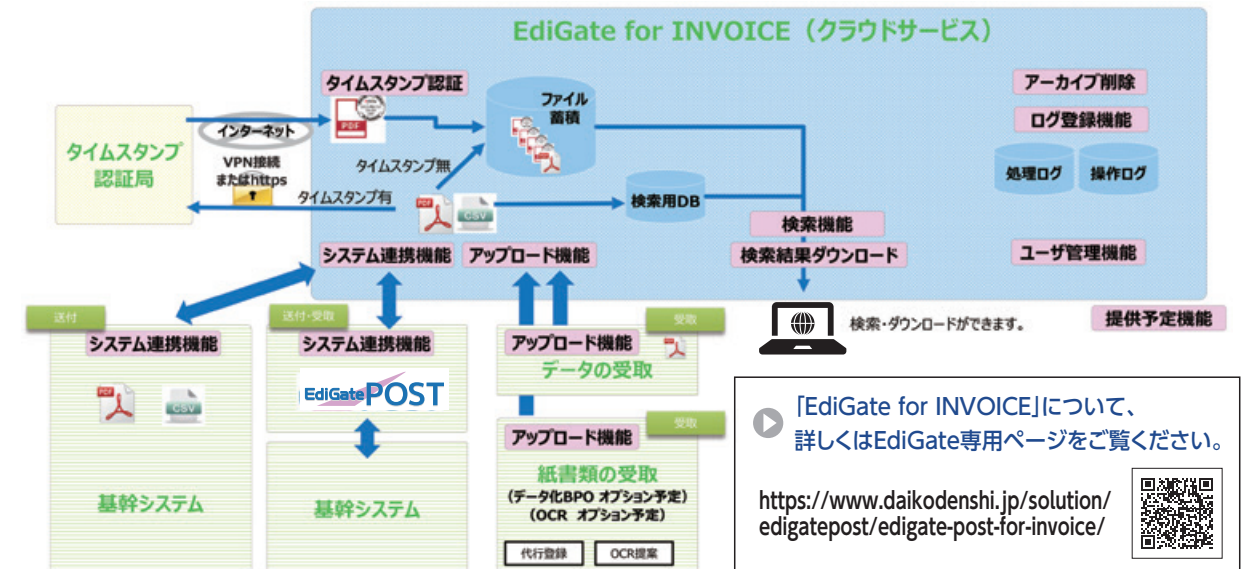
## 》クラウド型WEB-EDIサービス EdiGate for INVOICE

当社は、クラウド型WEB-EDIサービス「EdiGate」シリーズの新たなラインアップとして、「EdiGate for INVOICE」を2021年10月14日から販売を開始いたしました(2022年2月より順次リリース)。

「EdiGate for INVOICE」のリリースに伴い、DAIKOでは従来の購買・EDIサービスとの連携により、企業間のあらゆる帳票の電子化、改正電子帳簿保存法に対応した電子保管サービスの提供が可能になり、ペーパーレス化を推進する企業を強力にサポートします。

さらに、インボイスの保存や電子請求データの配信など、「適格請求書発行事業者」に必要な機能を備えたサービスになります。

(EdiGate for INVOICEシステムイメージ図)



「EdiGate for INVOICE」について、詳しくはEdiGate専用ページをご覧ください。  
<https://www.daikodenshi.jp/solution/edigatepost/edigate-post-for-invoice/>

